

【日時場所】

2022/9/24 (土) Zoom Web会議 20時30分～

【参加者】(クラブ名のみ記載、順不同 敬省略)

TTS、HMC、ASC山陰、MRSC、CCM、INDY、MACC

【議題】

①今年のJAF CUP/西日本フェスティバルについて

以下日程で開催予定

- ・JAF CUP : 10/29～30 丸和オートランド那須 (栃木県)
- ・西日本フェスティバル: 11/19～20 京都コスモスパーク (京都府)

JAF CUPは申し込み先が全日本枠と地方枠があります。

タカタの全日本しか出ていない選手は地方枠の申し込み先 (太田まで) に申し込みください。

検討中の方、運搬やコース攻略等相談にのりますのでお気軽に太田まで問い合わせください。

②JMRC中国ダートトライアル協力金の使途について

ダートトライアルの協力金は地区戦のJMRCシリーズタイトルがかかっている大会で、1エントリーあたり1000円を徴収し、ダートラ部会の協力金として扱っています。予定している使途は以下の通りです。

- ・表彰式でのJMRCシリーズ戦の賞金や表彰状代
- ・JAF CUP/西フェス遠征費の補助
- ・JAF CUP/西フェスのケータリング等に使う費用

③2023年度のクラス分け及び大会日程について

今年と同じく7戦を予定。日程と主催クラブは以下。

- 第1戦: 3月5日 (CCN/HMC)
- 第2戦: 4月2日 (MCCS)
- 第3戦: 5月21日 (CCM)
- 第4戦: 6月25日 (RCH)
- 第5戦: 7月30日 (SPIRIT)
- 第6戦: 8月27日 (MRSC)
- 第7戦: 9月17日 (TTS)

クラス分けについては、2022年度クラス分けに対して、チャレンジクラスを追加。

チャレンジクラスの概要についてはP2以降を参照ください。

④2024年度以降のクラス分けについて

AE+、AT、N、PSA、RWD、SCD1クラスについて、参加台数が少ない状態となっている。

AE+、AT、PSAはベース車が中古車市場でも入手しやすいが、N、SCD1は価格が高騰しており購入が困難。

また、補修部品が出なくなっているため、故障をきっかけに出場できなくなる選手を多い状況。

2024年にはAE+、ATクラスを含め、クラス統合を進める検討する。出場している選手にもヒアリングしながら進める。

また、3～5年後を見据えたクラス分けのロードマップを作成し、選手が車両づくりに取り組みやすい

将来像を提示していきたい。

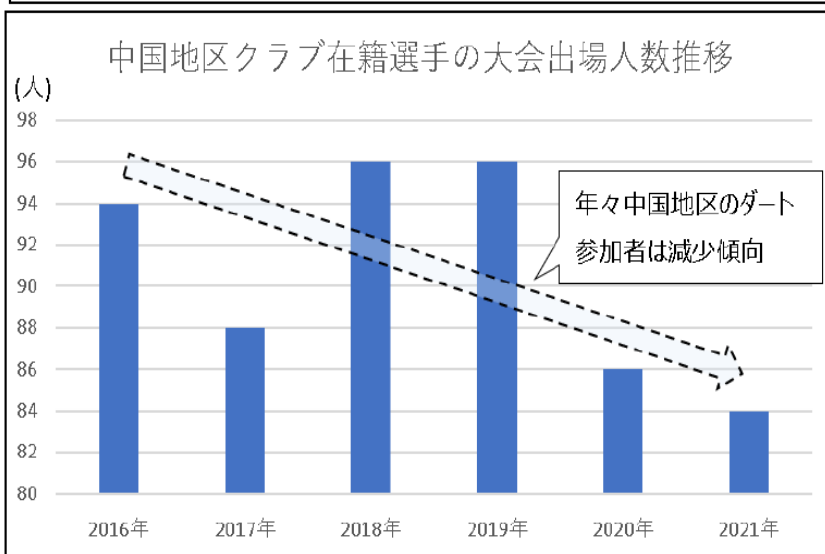
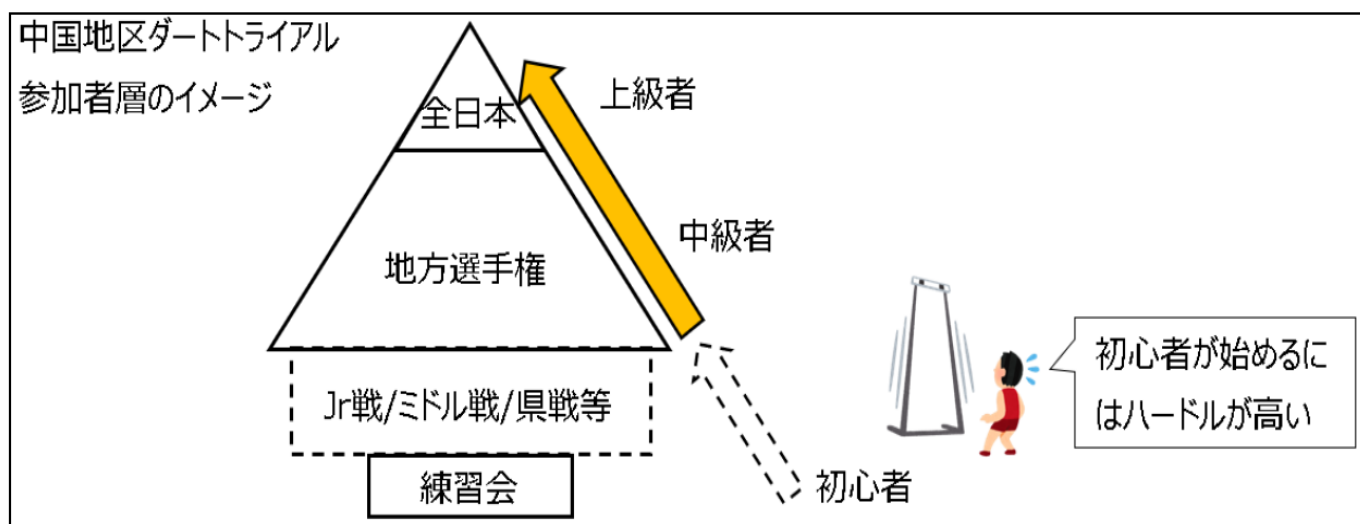
④その他 (ダートラを盛り上げるための施策募集等)

- ・TTDF等のイベントでも各個人持ち出しで行っているケータリング費用を協力金から補助出来たりできないか？
⇒JMRCシリーズとは別のイベントの為、すぐには回答できないが、盛り上げる施策として検討していきたい。
- ・ATクラスに出場していたメンバーがチャンピオン争いで盛り上がっていたと感じた。
AE+と統合してさらに盛り上がる可能性があるのであればありだと思ふ。
⇒部会としても該当クラスの選手からヒアリングしながら検討を進めたい。
- ・会計監査の後任を検討していきたい。JMRCの動きも知れる良い機会になります。
立候補含め、声掛けもさせていただきますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

2023年中国地区ダートトライアル選手権 併設クラス チャレンジクラス（仮名）について

■チャレンジクラス（仮名）併設の趣旨

現在、中国地区のダートトライアル選手権は Jr 戦や県戦等の入門イベントが開催されておらず、参加者層は以下のイメージとなっていると捉えており、新規にダートトライアルを始める参加者が増える傾向は見えておりません。



一方、Jr 戦や県戦等を開催しようとした際、選手が集まらない為、オーガナイザーに大きな負担がかかります。そこで、主催者負担を大きくすることなく、初心者の参加を行いやすいクラスとしてチャレンジクラスを提案いたします。

■チャレンジクラス参加対象者

チャレンジクラスはこれまで Jr 戦等が担っていた、入門イベントの位置づけを狙ったクラスとして提案/新設を行います。クラス区分を細分化すると大会感が出ず、競技性が体験できないようになってしまうため、クラス区分は設けません。まずは大会を体験してみようかな？という参加者をターゲットとします。そのため、地方選手権で長年実績を積み重ねている選手の出場は不可とします。出場不可とする選手の基準は以下とし、「JMRC 中国ダートトライアルシード選手」として定義します。

【出場不可とする選手の基準】

- ① 過去に JAF 全日本ダートトライアル選手権シリーズ上位（1～6 位）を獲得した選手
- ② 2004 年以降に各 JAF 地方選手権シリーズ上位（1～3 位）を獲得した選手

■チャレンジクラスの走行について

チャレンジクラスは初心者を対象としたクラスの為、練習走行 1 本、本番走行 2 本の合計 3 本を走行していただく想定をしています。これはジムカーナのフレッシュマンクラスと同じ方式となります。カレンダー調整会議日にご意見を頂きたいです。

■チャレンジクラスの参加車両規則について

車両区分無しとする。駆動方式を分けるかどうか等の協議は今後継続的に行う。初心者のうちでは、二輪駆動車が四輪駆動車のタイムを上回ることも多々事例があることや、台数が集まらないとクローズドで出場していると変わらない状況となってしまうため、2023年度については車両区分無しで様子を見るのが望ましいと考えています。4駆で出場した場合は車両的に有利になりますが、クラス優勝者は来年度以降チャレンジクラスへの出場は認めないので、自然に是正されると想定。

■チャレンジクラス参加費用について

元々地区戦に出ていない初心者をターゲットとするため、選手権よりも参加費を抑えた8000円（仮：カレンダー調整会議日にご相談ください）に設定します。主催者への金銭負担が増えないよう副賞は無しとし、表彰状の授与のみとします。チャレンジクラスは安価で選手権にチャレンジする、そういった位置づけにするためです。なお、JAF/JMRC 中国ダートトライアルシリーズのシリーズ表彰は他のクラス同様に行いますので、JMRC 協力金 1000 円のご協力をお願いいたします。

■チャレンジクラス創設による期待する効果

これからダートトライアルを始めてみよう考えている人や、練習会にのみ参加している選手を大会に呼び込める可能性があります。理由として、初心者が敬遠する以下のようなネガティブな要素が存在するためです。

- ・地区戦に初めて参加した際、1位とは数十秒以上離されており、自信を無くす
- ・2本しか走れないのに参加費が15000円必要で高く感じる
- ・ベテランが多いため参加するのを躊躇ってしまう

これらは、実際に最近ダートトライアルを始めた方から聞いた声です。チャレンジクラスは参加対象者からベテラン選手を除くことによって、初心者でも気軽にチャレンジしてみる場を提供できます。また、チャレンジクラスで年間優勝した選手の地区戦へのステップアップを自然と促すことができます。

■チャレンジクラス創設による考えられるデメリット

地区戦に出場している選手が、チャレンジクラスに移行することによって地方選手権の参加者が減少する可能性があります。但し、2022年に出場している現役選手は2004年以降地方選手権3位以上経験者がほとんどを占めます。

■チャレンジクラスの将来展望について

初心者の方が出やすいクラスとして認知がされることで、新規の大会参加者増が期待できます。将来的にはJMRC 中国のジムカーナ大会で開催しているフレッシュマンシリーズのように、JMRC 中国ダートトライアル独自シリーズ戦として開催し、初心者として気軽にチャレンジできて目つ、JAF/JMRC の冠もついた名誉ある大会として開催をしていきます。

■チャレンジクラスのシリーズ表彰について

シリーズ表彰は他のJAF/JMRC シリーズ戦と同様のポイント集計と順位決定を行う。

■特別規則書に掲載するチャレンジクラス内容案（クラス区分およびシード選手の定義）

チャレンジ： 車両による区分無し

(JMRC 中国ダートトライアル部会が公示する JMRC 中国認定シード選手の出場不可)

第〇条 シード選手（JMRC 中国ダートトライアルシード選手）

JMRC 中国ダートトライアル部会は、2004年以降に JAF 全日本ダートトライアル選手権シリーズ上位（1～6位）を獲得した選手、各 JAF 地方選手権シリーズ上位（1～3位）を獲得した選手をシード選手と認定する。